



女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

		<p>見交換をして要望を吸い上げて頂くことになっています。この方法に変えたことによって設置要望が飛躍的に伸びたのは、創造会議にはPTA等の各種団体の方も入っておられ、その意見が反映されたものだと考えておりますので、地元の区長さんや、PTA等でご意見を出しておれば、その意見が校区で吸い上げられて要望として上がってくると考えております。先程言われたような町境の通学路等については、事前の自治会単位では設置要望が出にくかったのですが、非常に多く出るようになった結果だと考えています。また、調整が困難な場合、お気軽に危機管理課までご相談いただければ、設置する柱については、例えば共同アンテナの柱を利用とか柔軟に対応したいと考えていますし、防犯灯の間隔につきましても、現場を見てかなり間隔があいているということであれば、事前の基準にとらわれず出来るだけの対応をしていきたいと考えています。どうしても対応できないということであれば、お気軽に危機管理課までご相談いただければと思います。</p> <p>高橋由枝 子育て5つの無料化について財源確保の見通しについてお伺いします。子育て支援の財源として年間5億8千万円必要だと伺いましたが、ふるさと納税や税金からの財源確保は困難になりませんか。もし、財源が少なくなった場合、サービスの縮小をしたりせざるを得なくなることはありますか。</p> <p>副市長 今ご質問いただきました通り、加西市の財政の規模からすると非常に大きな金額になります。もちろんこれだけの予算を投じた事業を実施するにあたって、市長を筆頭に庁内で令和3年度から令和12年度の10年間の財政終始見通しをたて、その中で、今おっしゃっていただいたふるさと納税の状況等も踏まえながら、財政運営上のシミュレーションをおこないます。この令和12年度までの間においては、R3年度までの時点で一定数歳入として入ってきたものを運用していくことで安定的に施策として実施できるという見通しを立てた上で、R4年度の施策として議会の方で承認頂いて実施しています。</p> <p>ふるさと納税につきましてはご質問頂いた中でも触れて頂きましたが、今のところ加西市の方は積極的に受け入れ増に取り組んでいることもあり、令和3年度で申し上げると165億5千万、全国で12位ということで、引き続き非常に多くのご寄付を頂いています。そのご寄付の中で目的をいろいろ選べる形になっていますが、その中で子育て支援の充実や教育環境整備に関する事業という項目があり、約24%の方がこの項目を選んでいただいております。ですので、寄付していただいた寄付者の皆様方の意志というものを反映するという意味において、この子育て支援に対しての財源を充当するというのは趣旨にかなっています。この辺を中心にしながら積極的に対応していきたいと思っています。ただ、ふるさと納税制度自体は全国的に見ますと今後安定的に今の形で維持されるのかと言うのは極めて不透明です。一定の改正が行われて行く中で、</p>
--	--	--

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

		<p>歳入について今の状況がずっと続くかと言うのは厳しいのではないかと考えています。したがって、先程申し上げた財政収支見通しの中で、今後の見通しとしては収支歳入額が減っていくという見通しの元たてていますが、このシミュレーションが20年30年と言うスパンで安定的に実施できるかと言うのは今後引き続きふるさと納税の歳入の状況も注視しながら検討していくべきところかなと思っています。</p> <p>高橋由枝 副市長</p> <p>この政策によって他市からの転入見込みはどのくらいあるとお考えですか。</p> <p>今のところ具体的な数値設定は行っておりません。理由のひとつは、もちろん転入が増えると言うのは目的の一つです。市外の若い世代の人たちに移り住んでいただくと言うのは大いに期待していますし、一定数が増えるということも当然目論んでいます。また、同時に子育ての5つの無料化は加西市にお住いのまさに皆様方、子育て世代の皆様方もしっかりとお支えして、加西市に愛着をより持っていただき、加西市で子育てをすることに対しての<b>重相関</b>というものをより高めて頂くということも転入と同じくらい大事な目的だと思っておりますので、単純に転入者が増えることをもって効果という物を見るというのは効果としては違うかなと思っています。ただ、転入見込みに関してはこれまでよりも増えること、特にこども園等の預かりの推移、この辺りをみながら受け入れ態勢の充実も含めて積極的に取り組んでいきたいと思います。</p> <p>高橋由枝 市長</p> <p>最後に市長にお伺いしたいのですが、子育て支援5つの無料化に取り組む市長の思い、目的をお聞かせいただければありがたいです。</p> <p>質問省いて頂いて、時間を確保していただいたこと、感謝申し上げます。</p> <p>この施策の私の思いですが、大変危機的な思いです。出生者数のご質問もして頂いております。直近、もう答え出ております令和3年、これは暦年ですが、1月～12月、という事は0.91、2人から1人もならないという状況です。令和2年、現実の出生者数は192人。令和3年は174人という、誰が考えてもこのままでいいのかということです。やはり、住んでおられる方々が、加西市で子育てしてよかったと思って頂く、そういう環境をしっかりと作ることを目的に子育て支援のために何ができるかということで、一方で財政の問題があります。</p> <p>今の財政でどこまでできるかということで今回の5つの無料化に踏み出しました。財源については先程副市長が申し上げた通りですが、少し踏み込みますと令和3年からの10年間プランを作っておりまして、その行革プランの中では先ほどいいましたふるさと納税、3年度は20億と言う見立てをしておりますが、64億5600万と言う数字であります。また令和4年度の見立ては20億でしておりますが執行者として35億に変更する予定にしております。現実</p>
--	--	---

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

	高橋由枝	<p>の足元の状況は、随分良い状況、そして令和4年、5年と20億で見立てて、それ以後12年までは10億ずつと言う見立てです。将来ふるさと納税制度がどう変わるか分からないのは確かではありますが、一方14年続いてきた制度でありますので容易に一気になくなってしまうという事はあり得ないわけで、我々のふるさと納税の見立てと現実の姿は、随分現実の姿が良いわけですので思い切って足を踏み出したところであります。</p> <p>そして、今ご質問の中にもありましたように本当に続いていくのかと言うご心配があることも、先の議会中の議論でもありましたのでよくわかりました。我々としては、財政の状況をしっかり皆様にご認識頂くところを頑張ってやっていきたいと思っています。これはしっかり続けていきますので、20年30年という言い方をしましたが、行政としては10年くらいの見通しを持ちながら物事を進めていくことを今がんばっているところですので安心してください。</p> <p>そして、やはり子育てと言う事で、今日子供さんもつれてご参加いただいております、傍聴の方々も子供さんを連れてきていただいております。そのことが苦しくないといいますか、楽しいといいますか、子育ては楽しいんだと言うふうに最終的になっていくような環境を、子育ての苦しさを出来るだけ排除していく。そのためにまだまだやりたいなと思っていますので、今の環境をさらに良くしていくように頑張って行きたい。そして皆さんには、頑張って子育てしやすい加西市ということで我々として打ち出しましたので、是非多くの仲間たちに広げて頂くということをご協力いただけると嬉しいなと。プロモーション費もおいております。インターネットの時代ですのでそう言うところでどんどん宣伝もして行きますが、やはり、個人の口からきく情報で人が動く動機になりますので是非、皆さんの力を貸してください。ありがとうございました。</p> <p>貴重なお話ありがとうございました。無料化のような金銭面でのサポートもとてもありがたく魅力的ですが、ファミサポをもっと多くの方に利用していただけるようにバージョンアップしたり、善防キッズ、北部キッズを未就園児の親御さんたちにより多く利用できるようなプログラムなど、人とのつながりをもっと持てるような場を広げていって頂ければより良い子育て環境につながると思っています。以上で質問を終了いたします。</p>
--	------	---